

大泉

年度末を迎えて

校長 中岡 盛一

校庭のプールの入り口近くにある平成記念植樹の二本の紅白の梅が咲き、桜の蕾も少しずつ膨らんできて、春の訪れを感じます。

いよいよ学年末を迎えました。一年間、保護者・地域の皆様の御協力に感謝申し上げます。言うまでもありませんが、お子さんの教育は学校と家庭・地域が一体となつて行つていくと効果が上がります。子供たちが学校にいる時間は約七時間程度で、その他の時間は家庭・地域で過ごしています。二十七年度も大泉小学校の教育方針や活動に御理解と御協力をたまり、成果を上げていきたいと思っております。

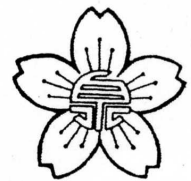
さて、今年度の学校評価アンケートの結果報告と考察をお知らせしているところですが、来年度のことについてもお知らせしたいと存じます。

一、ALIT（外国語指導助手）への移行
五月下旬から、英語を母国語とするALITが五、六年生及び5組に派遣される予定です。五、六年生については、一学級当たり十六時間程度の授業参加の予定です。原則一日六時間学校にいますので、授業以外でも、国際理解や異文化理解のため子供たちとの交流を考えます。

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



二、校内水道工事

今まで屋上の受水槽に水を溜め配水していたシステムを、直結式の水道方式に変えるため、夏休みに廊下を中心に足場を組み水道管を通す工事が入ります。危険なため子供たちを校舎内に入れることができないため、夏休みに毎年実施していた学力補充教室は開催できません。夏季水泳指導は実施しません。

三、新一年生

現在のところ男四十九名、女四十四名、合計九十三名の入学予定です。従つて三学級編制となります。教室配置の関係で現在二年生が使用している二階の教室が新一年生となり、現在の一年生は教室変更が無くそのままとなる予定です。

四、三学期制の移行期間

再来年の二十八年度から練馬区は三学期制に戻ります。二学期制のよさの「学びの連続性や子供と向き合う時間的なゆとり確保」を失わない努力と、授業時数、通知表などの評価、行事等、の問題に対して準備をしていきます。

最後になりましたが、卒業式を二十五日に挙行いたします。卒業生七十五名が卒業です。小学校で学んだことを土台に中学校で大きく成長して欲しいと期待しています。

練馬区いじめ防止標語で四年生の矢吹正宗君が最優秀で表彰されました。「助けよう見ているだけじゃかわらない」

3月の行事予定

- 2日(月) 20日(金) 大掃除月間
- 2日(月) 保護者会(12)
- 3日(火) 保護者会(56)
- 4日(水) 安全指導・安全点検
- 4日(水) 6年生を送る会
- 5日(木) お別れ給食会
- 5日(木) 委員会活動
- 6日(金) 保護者会(34)
- 9日(月) 巣立ちの会
- 21日(土) 特別時程5時間授業
- 21日(土) 春分の日
- 23日(月) 給食終わり
- 24日(火) 修了式
- 25日(水) 卒業式リハーサル
- 26日(木) 春季休業日始

※火災を想定した予告なしの避難訓練を実施します。

◎4月6日(月) 始業式・入学式

先日はテストメールでの返信ありがとうございました。

12日(木)にテストメールを流します。今回は返信機能は使用しません。来年度今のメール登録を引き継ぎ、学校で学年を上げる作業を行います。今のメールを継続する方は再登録の必要はありません。

《3月の生活目標》 「身の回りの整理整頓を しっかりとしましょう」

今月の目標は「身の回りの整理整頓をしっかりとしましょう。」です。

学校で使う教科書や文房具類は整理整頓できていますか？やりっぱなしになっていることはないでしょうか？

身の回りが乱雑になっていると、途中で物を落としたり、どこにいったか探さなくてはならなかったりと、学習に集中できません。また、身の回りの乱れは、心の乱れにもつながっていきます。使いたい物がすぐに出てこなくて、イライラしたり、やる気がなくなってしまうたりすることもあります。

気持ちよく過ごすためにも、身の回りはいつもきれいにしておきたいですね。それに、自分の回りをきれいにしておく、他の人も気持ちよく過ごすことができます。

整理整頓がどうしても苦手という人がいるでしょう。そういう人はまず、「使った物は必ず元に戻す」ということから始めてみてはどうでしょうか。

三月は総まとめの月です。気持ちよく新しい学年に進級できるように今まで使ってきた教室、持ち物をきれいにし、身の回りを整理整頓しましょう。おうちの方からも声かけよろしくお願ひします。

(和久井 智洋)

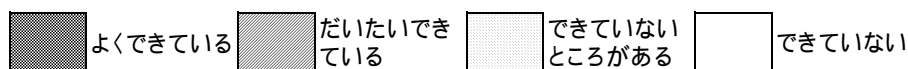
◎『心のふれあい相談室』について

ふれあい相談員は、浅沼玲子相談員です。
・時間は：火曜日・木曜日
9時30分～17時15分
・場所は：和室
で行います。

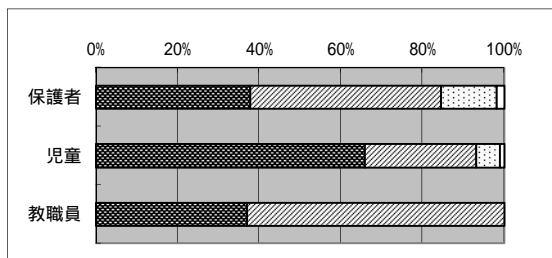
学校評価アンケートの結果報告と考察

学校評価のアンケートでは、ご協力ありがとうございました。保護者・児童(3年生以上)・教職員の結果をまとめましたので、ご報告いたします。

今後も、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



1. すすんであいさつができる児童を育てていきます。



現状

・自分から「大きな声で」「来校者に対して」のあいさつはもう少しです。
 ・「あいさつ月間」に参加した子への賞状を廃止しましたが、例年通り、たくさんの児童がしっかりとあいさつ運動に参加することができています。

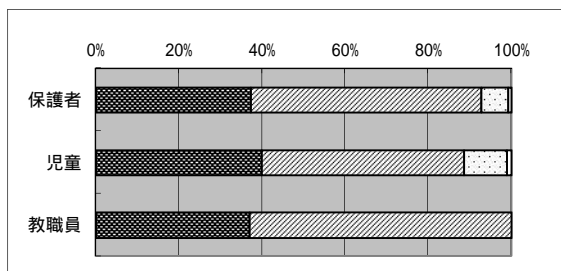
今後

・「あいさつ月間」であいさつをする場所を今後再検討していきます。
 ・教員からのあいさつを積極的に行っていきます。
 ・あいさつ、返事の指導は継続的に行っていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	84.5%	93.1%	100%
25年度	85.5%	94.2%	100%

2. 友達を思いやり、互いに助け合って学校生活を送ることができるようにします。



現状

・90%近くの児童が、友達を思いやり学校生活を送っていると満足しています。しかし、できていないと捉えている児童が約12%いるという現状です。

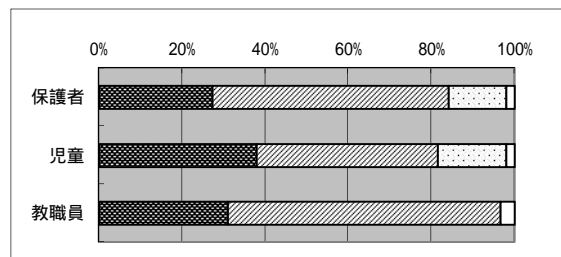
今後

・自分が周りの人から大切にされているという意識をもたせ、自己肯定感を高めていくことが、友達を思いやる気持ちに繋がっていくと考えます。学校生活全般で、自己肯定感を高めるようにしていきます。具体的には、教科の授業や清掃・給食などの体験活動を通して、育てていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	93.0%	88.5%	100%
25年度	90.3%	90.0%	100%

3. 場に応じた正しい言葉使いができるように指導していきます。



現状

・20%の児童が場に応じた言葉遣いができていないと捉えています。児童の大人に対しての言葉遣いがもう少しであるという状況です。

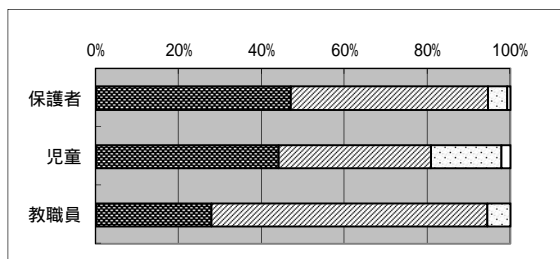
今後

・大人に対する言葉遣いや場に応じた言葉遣いなど学校生活全般で、教職員全体で共通理解をして継続的に指導していきます。特に、教室では友達との会話、大人との会話、教員との会話などTPOに合わせた指導を行っていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	84.2%	81.5%	96.6%
25年度	81.6%	81.4%	90.0%

4. 5組と1、2組との交流および共同学習を計画的にすすめていきます。



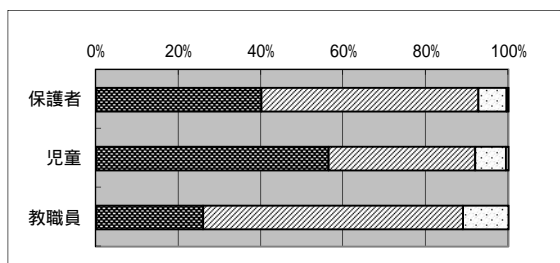
現状
 ・各学年、学習内容や行事と合わせて交流学習を行っています。
 ・持久走やひじ皿作りでは、通常級の児童と5組の児童が声を掛け合っている様子が見られました。

今後
 ・年間計画に基づいて、通常学級と5組の担任同士が声を掛け合って、積極的な交流をすすめていきます。
 ・学校全体として、低学年のうちに、交流に重点を置

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	94.5%	80.9%	94.4%
25年度	95.8%	70.1%	91.7%

5. 学ぶことがはっきりしていて分かりやすい授業をすすめていきます。



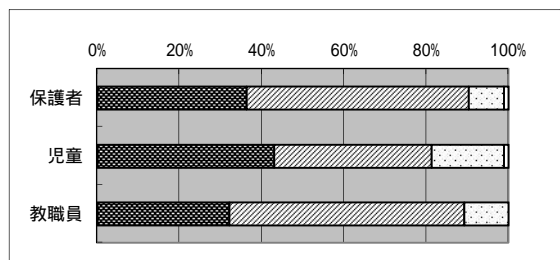
現状
 ・保護者、児童、教職員の三者とも肯定的にとらえられています。教員の意識としては、現状に満足せず、より改善していきたいという気持ちも表れています。

今後
 ・児童が学習の流れの分かる授業など、校内研究等を通して、授業改善に努めていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	92.7%	91.9%	88.9%
25年度	91.6%	93.9%	100%

6. 教育活動全体で言語活動を充実し、「聞く」「話す」能力の向上を図ります。



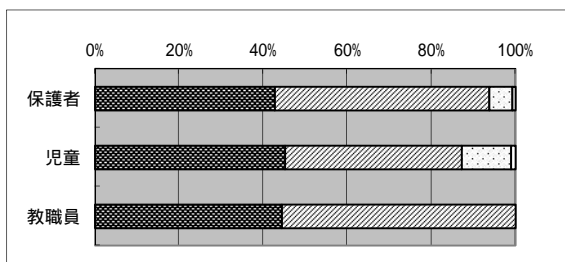
現状
 ・保護者は学校公開の様子などを通して、言語活動の充実を捉えています。児童の中には、学習中に発表することに対して、苦手意識を持っている子いるのが現状です。

今後
 ・自分の意見を発表することに対して、苦手意識がなくなるように指導の工夫を常に考えていきます。相手に伝わる話し方の学習を継続していきます。
 ・校内研究等を通して、授業改善に努めていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	90.3%	81.3%	89.3%
25年度	91.0%	82.0%	95.0%

7. 学習のルールについて児童に繰り返し指導し、ルールを守って学習がすすめられるようにします。



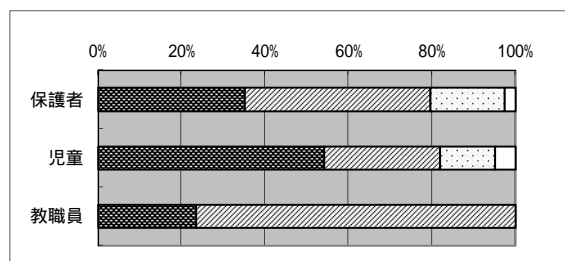
現状
 ・学校公開の様子から、保護者は肯定的に捉えています。
 ・児童によっては、学習のルールの捉え方に差があるように思えます。

今後
 ・年度当初に児童に徹底すると共に、保護者にも周知して、学習ルールの共通理解を図りたいと考えています。
 ・大泉小10のルールでは、学習面・生活面の両面あるので、場面に応じて指導していきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	93.8%	87.2%	100%
25年度	91.7%	86.0%	95.0%

8. 家庭と連携し、家庭学習の習慣が身に付けようとしています。



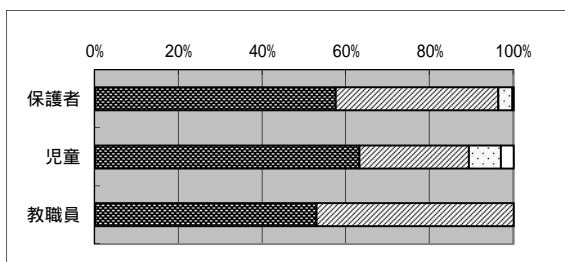
現状
 ・宿題はほとんどの児童が取り組んでいるが、自主学習の取り組みまでは、至っていないのが現状です。

今後
 ・プリントやドリルなどの宿題だけでなく、学年に応じた家庭学習が取り組めるように、家庭学習の中身などを考えていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	79.6%	81.9%	100%
25年度	82.5%	82.5%	87.5%

9. 持久走月間、なわとび月間の充実や環境整備をすすめ、児童がすすんで体力づくりに取り組む態度を育てていきます。



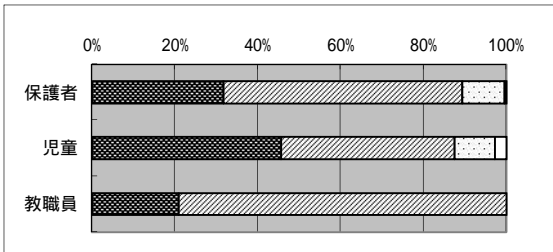
現状
 ・持久走では、児童が楽しんで取り組み、時間外でも走る姿が見られました。
 ・持久走カード等を活用することで、持久走に対する動機付けになっていると考えます。

今後
 ・運動委員会の児童たちが、月間中に積極的に関わられるようにしていきます。
 ・なわとびカードでは、児童が自分のなわとびの達成が感じられるような工夫をしていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	96.4%	89.2%	100%
25年度	96.8%	90.6%	100%

10. 道徳や特別活動などの充実を通して、自己肯定感を高め、困難に立ち向かう強さを育てていきます。



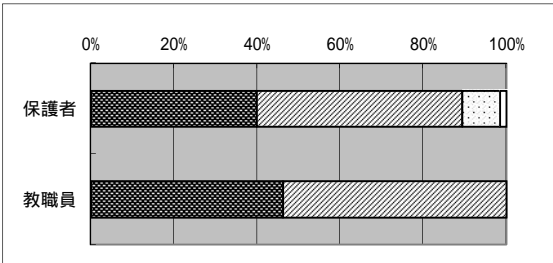
現状
 ・各学級で適宜学級会を設定しています。
 ・2年前まで校内研究を通して、児童が話し合いの流れを理解し、取り組んでいる状況です。
 ・道徳をはじめ、日常の教科・領域などの中で、生活を振り返らせ、自己肯定感を高めるよう指導しています。

今後
 ・低、中、高学年の学級会で使う物を整備し、話し合い活動が円滑にすすむようにしていきます。
 ・教員が適宜声をかけて価値付けをし、自己肯定感を高めていくようにします。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
26年度	89.4%	87.5%	100%
25年度	90.9%	84.5%	100%

11. 個々の児童の学校生活の様子について、必要に応じて保護者の皆様に丁寧に伝え、協力しながら指導をすすめていきます。



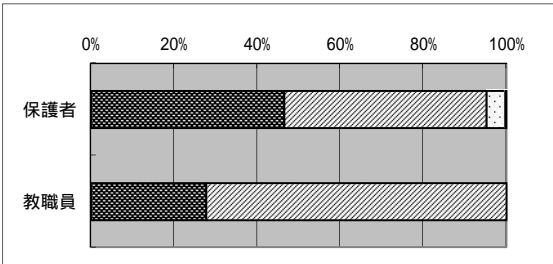
現状
 ・学校だより、学年だより、個人面談、保護者会等で必要なことについてお知らせしています。
 ・児童のことについては、各担当がそれぞれの保護者に必要に応じて伝えていますが、気になることがありましたら、ご一報ください。

今後
 ・ホームページを通して、学校のことを伝えているが、学年によって内容の差があるので、どの学年も児童たちの様子を伝えるよう取り組んでいきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
26年度	89.3%	100%
25年度	88.6%	100%

12. 地域の教育力や環境を活用した授業を実践し、教育内容を豊かにしていきます。



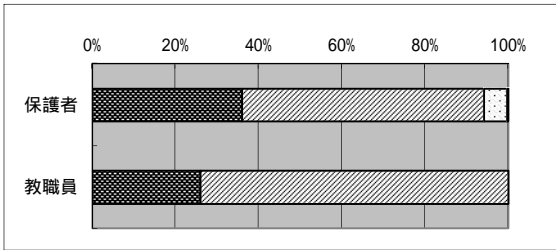
現状
 ・生活科、社会、総合的な学習など学年に合わせて、地域の教育力を活用させていただいて、感謝しています。(1年どんぐり拾い・2年町探検、消防署・3年小泉牧場・4年練馬大根、点字体験・5年アニメ教育、手話体験・6年車椅子体験)

今後
 ・現状のように、各学年の学習内容に合わせて、地域の教育力を今後も活用させていただき、教育活動の充実を図っていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
26年度	95.3%	100%
25年度	94.5%	94.1%

13. 研修を充実させ、指導力の向上を図り、児童が生き生きと活動する授業づくりをします。



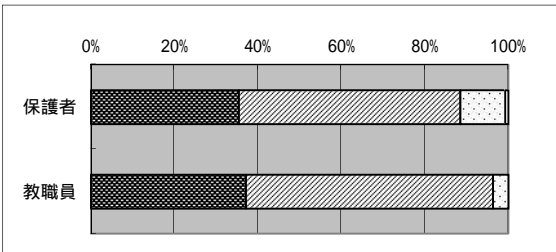
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
26年度	94.2%	100%
25年度	91.9%	90.0%

現状
 ・児童の学習の取り組みに対して、教職員が真摯に取り組んでいると捉えている保護者が多く、ありがたく思っています。

今後
 ・現状に満足することなく、今後も教員の指導力の向上を努めていきます。

14. 生活指導の課題については、一人一人のお子さんに応じた丁寧な指導をすすめていきます。



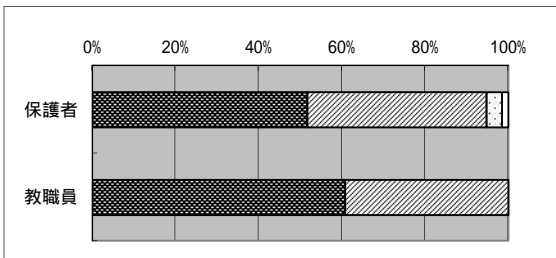
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
26年度	88.6%	96.3%
25年度	85.6%	100%

現状
 ・約90%の保護者が肯定的な評価をしていただいています。

今後
 ・児童の生活指導上の課題に対しては、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員の方とも協力しながら、学校全体で共通理解をしてすすめていきます。

15. 服務事故を絶対に起こさないようにします。教職員が場に応じた服装や正しい言葉遣いができるようにしていきます。



「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
26年度	94.8%	100%
25年度	94.5%	95.0%

現状
 ・教職員の場に応じた服装や正しい言葉遣いが不十分と捉えられているところもあります。

今後
 ・引き続き教育現場にふさわしい服装や言動、服務事故防止に留意し、さらに信頼されるよう取り組んでいきます。